

主役はキミの「自分で考え、伝える力」

生成AIは、「考えること」を助ける道具

生成AIは、多くの文章や画像などを学習し、キミの質問や指示に応じて、新しい文章や画像、アイデアなどを出してくれます。しかし、正しそうに見える間違いや、偏った内容を示すこともあります。だからこそ、まずは自分で考え、AIの答えを資料や友達の考えと比べ、最後は自分で判断することが大切です。生成AIに答えを任せるのではなく、考えを広げ、深め、よりよく伝えるために約束を守って使いましょう。学びの主役は、いつでもキミ自身です。



1 学習活動で使ってよい生成AI

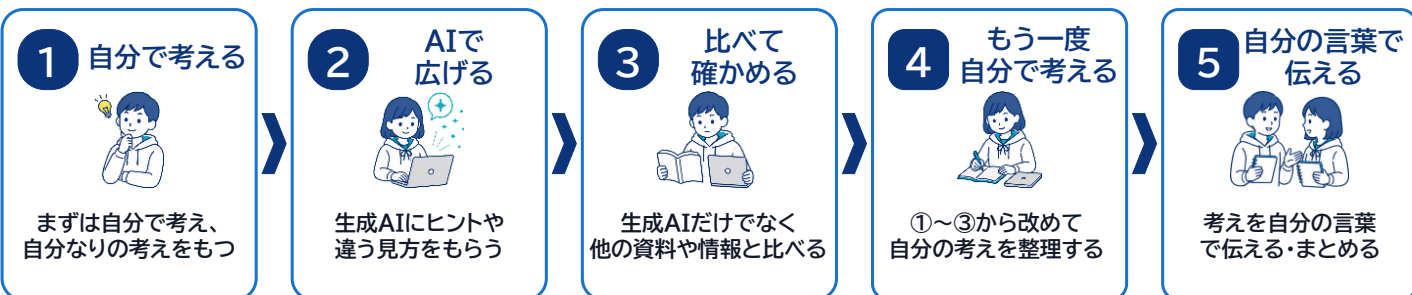
学校が利用を認めたサービスだけを使います

学年	タイプ① 直接相談する	タイプ② アプリ・検索に含まれる
小学校1～4年生	自分で直接は使いません。先生が使うのを見たり、みんなで学んだりします	※  Chrome検索（AIモード）
小学校5・6年生 中学校	 Gemini  Gemini Notebook 事前学習の後、先生が示した範囲で利用	 Canva  ジャストスマイル など 先生が示した場面・範囲で利用

先生が「使ってよい」と示した場面・範囲で使おう

2 使うときの5ステップ

生成AIに何を聞いたか、先生に伝えられるようにしましょう！



学びを深める使い方

- 調べる視点を広げる
- 違う考えを聞く
- 文章やアイデアを見直す
- 学習したことを練習する



してはいけない使い方

- 課題をそのまま聞く。答えを聞く。
- 生成された情報確かめずに使う
- AIの作品を自分の作品として出す

3 安全に使うための約束

困ったことや悩み事はAIではなく先生や家の人に相談しよう！



個人情報を入力しない
(名前・住所・写真など)
人を傷つけない・人の権利を守る
(著作権・肖像権など)



AIの共感・励ましは人の感情ではない。悩みはAIだけに相談しない。



目的と終わる時刻を決める
やめにくいときは利用を止め
信頼できる大人へ